

室崎益輝先生のご紹介

< 主な経歴 > 1971年4月京都大学工学部助手着任、その後、神戸大学工学部講師、助教授、教授、同大都市安全研究センター教授、2004年4月には独立行政法人消防研究所理事長、総務省消防庁消防大学校消防研究センター所長、2008年4月に関西学院大学総合政策学部教授、を経て、現在 兵庫県立大学減災復興政策研究科教授

< 主な社会活動 > ひょうご震災記念21世紀研究機構顧問、大阪市阿倍野防災センター名誉館長、海外災害援助市民センター副代表、地区防災計画学会会長など多数の分野でご活躍されています。

< 最近では > 阪神淡路大震災、東日本大震災はもとより、昨年 of 熊本地震、今年 of 西日本豪雨、大阪北部地震、北海道胆振東部地震などについても種々提言され、特に「非常時に指導者がとるべき行動として、正しいメッセージを国民に伝えることと、とるべき手段のリスト、つまり、どういう仕事をどんな段取りで、誰を派遣して責任をもたせて行うかということを確認にしなければならぬ」と指摘されています。